



みさき 議会だより



第107号 平成29(2017)年 4月号

主な内容

- 3月定例会：一般会計予算審査報告…………… p2
- 常任委員会の審査状況…………… p4
- 議員8人が一般質問…………… p6
- 子ども夢議会…………… p14
- 議案の賛否・陳情の審査…………… p15
- 町民登壇…………… p16

**期待をふくらませ
いよいよ一年生！**

3月定例議会

3月8日～3月22日までの15日間

平成29年度一般会計

歳入・歳出

48億2千万円

(前年度 49億2,350万円)

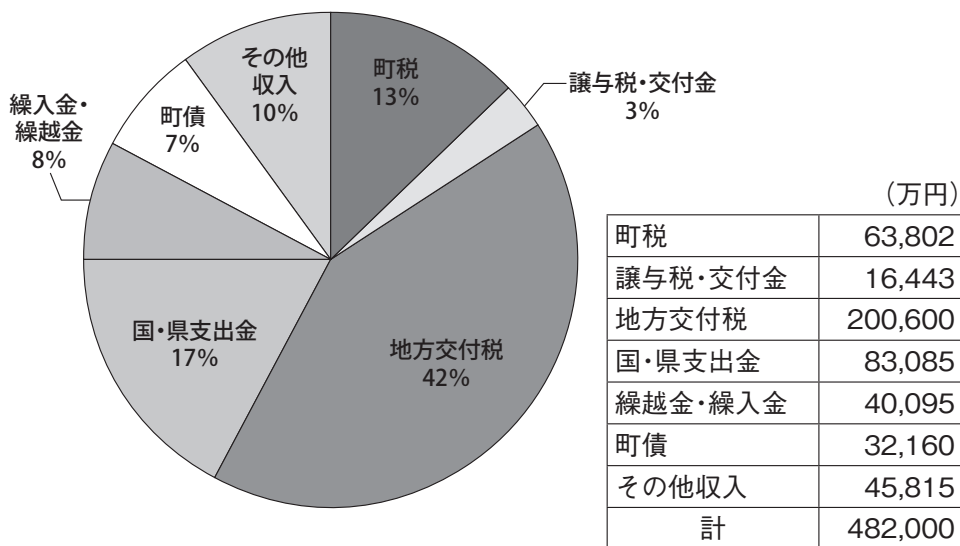
一般質問は8名

平成29年度 一般

地域活動充

地域が元気で活躍できること
及び各種団体の受け皿として

【歳入】



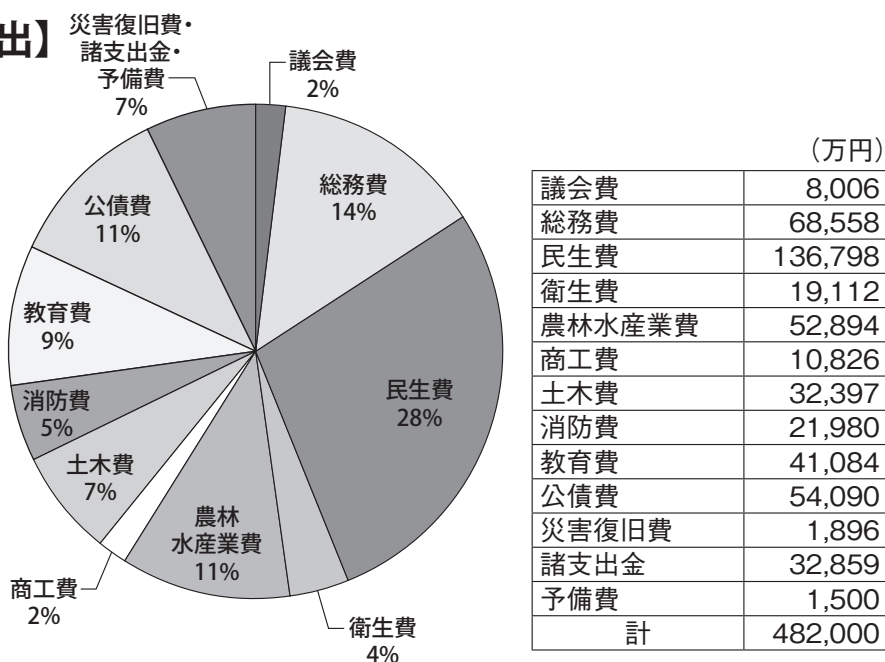
一般会計予算審査

**鳥獣被害総合対策事業
1,545万円**

(意見) 駆除だけではなく、ジビエとして活用できる方法を考えるべきではないか。

(回答) いい方法があれば考える必要があると思う。ニーズを含めて研究したい。

【歳出】



**名勝及び史跡三徳山
史跡等買上げ事業
6,507万円**

(意見) 買上げ計画の全体像、管理計画等を明確にすべき。

(回答) 地内の民有地について、過疎化、高齢化により荒廃が懸念されることから公有地化し、適正な管理を行う。買い上げについては、国・県と協議しながら全体計画を決めて行く。

実へ！ 交付金50万円UP

を支援し、10周年を期に検証し、地域協議会の地域づくり、行政の機能等を考慮し、更なる充実を期待し増額。

特別委員会 審査報告

ふるさと健康むら管理費 497万円

指定管理者への委託料・芝生広場排水補修

(意見) 協定の内容を見直し、観光にもっと力を入れるべきでは。

(回答) 神の食卓が好調で、利用促進につながっている。観光の拠点となれるような取り組みをしたい。

地域自主活動支援交付金 1,200万円 (200万円×6地域)

(意見) ただ単に交付金を上げれば良いという問題ではなく、地域協議会が自主活動できる体制や、今後のあり方を再検討するべき。

(回答) 地域協議会が地域づくり活動に取り組むのは自主的活動で、町は地域が元気で活躍できる支援を行っている。

その他の審議！

公共施設の維持管理

(意見) 公共施設の維持管理が大変になって来ている。廃止も含めて検討をする時期に来ているのではないか。

(回答) 28年1月に公共施設等総合管理計画を策定した。現在、各施設個別の管理計画を各課で検討している。今後、学校統合等で公共施設の利用方向も変わってくる。廃止も含め個別の管理計画を策定していきたい。

県道等の除雪

(意見) 今回の大雪により、通学・通勤に多大な影響が出たが、今後の計画を県等と協議し、早急な対応が必要ではないか。

(回答) 今年の大雪は除雪対応が追いつかなかった。県に状況を伝え要望していく。

上水道の水源

(意見) 水源地の探査等の予算計上がないが、どのような計画になっているか。

(回答) 簡易水道の活用について調査したが、課題があり活用に至っていない。現在、伏流水について調査中である。

国際交流事業費

(意見) 訪仏事業について、これを継続実施するべきと考えるが。

(回答) 3月14日先方から受け入れは可能であると回答を得た。予算・日程など実施に向けての準備を進めている。なお、補正予算でお願いしたい。

地域おこし協力隊

(意見) 任期が7月で切れるがその後の計画は。

(回答) 定住に向けて協議をしたい。今後の協力隊については、分析等しながら考えていきたい。

常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

総務課

職員一般研修費 (129万円)

(委員) 長期的な視野で人材育成に取り組む必要があると思うが。

(回答) 職員は町の大切な財産で、町が頑張れる要素、そういう視点で取り組んでいく。

財務課

(委員) 一般財源で2億7千万円の不足が出ており、これは前年と比較してもかなり増えているが、これの主な要因は。

(回答) 主な要因は、補助金と起債であり、起債に関しては、当該年度に一般財源が要らない事業が大きく減となっているためである。

(委員) 国民宿舎事業について、企業債等も含めて何年で償還する予定か。

(回答) 民間から借り入れている部分については、指定管理期間内の5年で償還したい。町が基金等の運用で貸し付けているものについては5年間の償還は見込めない状況なの

で、最終的には譲渡を視野に入れ、その資金で返済できるところまでもっていきたい。

危機管理課

防災基盤整備事業 (6,983万円)

(委員) タンク付消防ポンプ自動車1台、5,800万円とあるが、1台でこれだけするのか。

(回答) 28年度更新した消防自動車は、2,400万円で、それにプラスして2t級のタンクが3,000万円、その他の装備を含めるとこの金額になる。

消防用施設整備費 (219万円)

(委員) 消防団員用ヘルメットライトはかなり高性能なものようだが単価はいくらか。

(回答) 1個2,500円で人数分予定している。

福祉課

意志疎通支援事業 (49万円)

(委員) この事業について、どこに委託しているのか。

(回答) 県聴覚障害者協会へ1市4町で委託しており、三朝町の分は手話通訳者の養成事業にあてられています。

子育て健康課

(新事業)すこやか乳児家庭 保育応援事業(1,431万円)

(委員) この新事業は保育園に入れずに家庭で育てなさい、という事を推進しようとするものか。

(回答) 多様な子育てを応援するもので、家庭で育てることを推奨するものではない。昨年までの三世代同居支援事業の三世代同居という枠を外し、幅広く支援していきたいということから、始めたものであります。



タンク付消防ポンプ自動車

産業民生常任委員会

特選三朝米と地大豆の特産物の育成

農林課

農業振興事業費 (8,270万円)

(委員) がんばる地域プランでの三朝米の販売に向けての営業活動はどのようになっているのか。

(回答) 旅館での取り組みについては、単に食事で三朝米を食べていただくだけではなく、売店での販売や三朝米のポスターを掲示するなど協力をいただいています。また、29年度はアンケートを取るなどしてさらに何が必要かを検討していきたい。

鳥獣被害総合対策事業 (1,545万円)

(委員) 鳥獣対策でいのししの檻やワナの維持管理は適正になされているか。

(回答) 檻やワナについては、番号を付けて集落単位で貸付けを行っており、年に1度報告を受けて管理している。

建設水道課

県営林道円谷福山線開設 事業負担金 (566万円)

(委員) この林道は県営なのか。どこが管理するのか。

(回答) 鳥取県が工事を行い町負担金が必要です。林業専用ですので、碎石舗装となり、林業者のみが使用する計画です。維持管理は森林組合にお願いする予定です。

道路橋梁総務費 (271万円)

(委員) 道の駅の関係で、駐車場とトイレを一体型で改修ということだが、トイレは県の設置なので基本的には県が維持管理していくべきものではないか。また、楽市楽座は改修するのか。

(回答) 楽市楽座自体は改修しません。全体的な構想を、縁満

とか観光果樹園を含めた一体型の考え方に変更し、鳥取県の協力を得られる部分として、トイレ整備と駐車場整備を考えています。

10月の道の駅の大会までには、県がトイレの美装化をするようになっています。

企画観光課

多目的展示施設管理費 (4,304万円)

(委員) みささ美術館の屋根修繕を行い、施設の長寿命化を図ることになるが、現行の指定管理は、三朝町にとってメリットがあるのか。

(回答) 指定管理を導入して以来、年々入館者も増加している。また、観光拠点施設として三朝温泉のPRと旅館との連携による集客効果があったと実感している。



三朝バイオリン美術館

三朝町の明日に期待

除雪対策

問 専門的知識を持つ職員を育てるべきではないか

答 まさに同感。しっかりした計画を立てて万全を尽くしていきたい。

○路線バスが長時間運休

清水

1月も2月の豪雪でも、路線バスが長時間運休になった。

町長

鳥取県の反省点にも上がっている。今後は、関係行政機関と鳥取県警、バス会社が交通障害の解消に向けて連絡体制を強化

していくことが協議されている。

○三徳山大門坂の融雪装置

清水

大門坂の融雪装置の不具合で、バスも運休したのではないかと

町長

毎年、鳥取県に要望している。今後、順次30年までに改修予定である。



清水成眞議員

施政方針

問 三朝温泉の多言語表示を早期に整備するべき

答 喫緊の課題。すぐにやっていかなければならない。

○中部地震復興への思いは？

清水

平成29年度予算について、復興への思いは？

町長

出来るものから予算化し、より早く、着実に復興に向けていきたい。

○復興支援の説明

清水

4月の区長会で詳しく説明すべきではないか？

町長

町民皆さんに直接、漏れがないように情報をお伝えすることを考えている。

○町報の臨時号

清水

今後は、町民の笑顔がたくさん掲載されている臨時号を出して「頑張ろう」というムードづくりをしたらどうか？

町長

明るさ、元気を届けるという部分でとても必要だと考えている。

○学校統合について

清水

現在の「学校統合準備委員会」だけではなく、町民を広く公募し、「学校建設委員会」（仮称）を組織し、広く町民の意見を吸い上げることが大切ではないか？

町長

ご意見として大切にしていきたい。

○産業と雇用

清水

三朝町の空き地を活用できないか。借りたい人、貸したい人を結びつけることはできないか？

町長

空き地の情報の整理は非常に大事なこと。空き家についても同様。移住定住と繋がる部分があるので意見を頂戴したい。

○農業・ブランド化

清水

全国には、まだ「三朝米」が

知られていない。「蟹取県」のような、町独自の面白いPRビデオをつくり全国発信したらどうか？

町長

ご意見、もっともです。鳥取県等の予算の中で取り組んでいただく事ができないか働きかけをしていきたい。

○三朝米の三朝町での消費

清水

石川県羽咋市では、給食に、自然栽培、完全オーガニック食材の給食を出している。（全国初）給食で「三朝米」「神倉大豆」などを使った完全オーガニック食材の給食は出せないか。全国PRになると考えるが？

町長

教育委員会にお願いをしたい。

○移住定住促進

清水

三朝町のホームページ、非常につまらない。わくわくしない。北海道士幌町のホームページを是非見て比べていただきたい。

町長

努力してまいりたい。

○6期目の出馬の意志は

町長

現在は、私に課せられた使命を全力で全うしたい。

小学校統合

問 統合後の三朝町義務教育の将来像が必要

答 教育委員会の総意で将来像をまとめたい

○素晴らしい三朝町義務教育のビジョン・プランの策定を

山口

具体的で分かり易い、他市町村に誇れる教育ビジョン・教育プランを一日も早く策定されることを期待する。

○教育委員会の総意で三朝町義務教育の将来像をまとめたい

教育長

教育委員会の総意として三朝町義務教育の将来像をまとめ、町民に示して議論を深めたい。

○義務教育学校、小中一貫教育への検討も必要では

山口

統合問題の検討において、他市町で取り組みが始まった義務教育学校、小中一貫教育の検討も必要である。

○検討を重ね議論を深めたい
教育長

将来の義務教育については4名の教育委員で検討を重ね、議論を深めていきたい。

○小学校統合のスケジュールが必要
山口

教育大綱から平成30年統合を削除しても、小学校統合は喫緊の課題であり、どのように進めるかスケジュールを示してほしい。



西小学校



山口 博議員

○検討の結果をまとめて公開して進めたい

教育長

教育委員会で検討を深め、総合教育会議・教育懇談会などを開き、結果を情報公開したいと考えている。

○やはり小学校統合は喫緊の課題
山口

小学校統合は喫緊の課題であり、熟慮、熟議を重ね他町に誇れるようなものとすべきである。

選挙権が広がり、政治への関心を高める取り組みで開催されている。

子ども夢議会・中学生議会・高校生議会について、議会・教育委員会・学校関係者と研究を重ねたい。

○若者や町民の声を聞く機会の実現を
山口

町当局・議会・教育委員会の三者で若者の声を聞く何らかの機会を是非実現すべきである。



子ども夢議会

子ども夢議会

問 子ども夢議会を拡大して若者の意見を聞く議会を

答 議会・学校関係者・教育委員会で一緒に研究を

○子ども夢議会はふるさとに目を向け町のことを知る大切な機会と評価

山口

小学6年生による、子ども夢議会はふるさとに目を向ける大切な機会である。また、町行政や町議会を知る機会であり、提言が実施された成果もある。

○小学6年生が政治の仕組みを学習する好機

教育長

小学6年生が政治の仕組みを学習する好機ととらえ、学習内容を深める機会として15年間取り組んできた。

子ども夢議会の教育効果、今後について議会・教育委員会・小学校関係者と話し合ってみよう。

○中学生議会・高校生議会の開催で多様な意見を聞く場を

山口

子ども夢議会は、町当局が子どもたちの思いや意見を聞く唯一の機会である。さらにこれを拡大して中学生議会・高校生議会を開催すれば、より多様な若者の意見が聞けるのではないかと。

○関係者で開催の研究を重ねたい
教育長

他市町の開催例は18歳以上に

三朝町の明日に期待

三朝町の観光

問 三朝温泉が更なる発展を望むには町・商工会・観光協会・旅館組合・町民が一丸となり取り組んでいかななくてはならない時期に来ている

答 関係の皆さんや関係機関と連携をさらに密に図りながらこれまで以上に賑わいの創出に向けていくことができるように全力を尽くしたい

○素晴らしい泉質をアピールし観光客の増員を図るべき

能見

三朝温泉が発見されてから850年、湯治と観光地として発展してきた。観光客が多いときには年間60万人を超えるお客様が来ていたが、現在では約30万人と半減している。

また、昨年10月21日の中部地震により風評被害は少なからず影響を受けた。徐々にではあるが復興の兆しが見えつつも、地震前の状態に戻すことはまだ道険しいところではないか。

三朝温泉が更なる発展を望めるかを町・商工会・観光協会・旅館組合・そして町民全体が一丸となって取り組んでいかななくてはならない。

町長はこの状態をどのように捉え急ぎ手を打たなければならないか、三朝町、三朝温泉の元気さをどのようにアピールしていくかというお考えなのかお示しいただきたい。

三朝温泉の泉質は世界でもずば抜けて素晴らしいものだと思う。三朝温泉街にある、岡山大学からNPO三朝温泉が建物を借用し行っている熱気浴施設は、三朝温泉の泉質を利用した素晴らしいものだと思う。

この施設は美容と健康の温泉の持つ2大特典を十分に満たす施設であり現代湯治に取り組む

三朝温泉として不可欠なものである。この施設を一刻も早く再開し三朝温泉の効能を広くアピールし観光客の増員を図るべきだと思う。

町長

昨年の影響を受け、余震を心配された宿泊者のキャンセルや予約が入らないなど観光客数の増加に対して多大な影響を受けた。風評被害を懸念された旅館や飲食店、商店街等関係者が知恵を出し合い、元気な三朝温泉をアピールし誘客につなげようと様々な努力をされているほか、国・県に置いても風評被害に対してご支援を賜っている。

熱気浴施設は岡山大学から町に対して譲渡する方向で協議をしているところである。

能見

三朝町には観光資源が沢山ある。町全体でアピールすることができないか。

三朝温泉協会を三朝町観光協会と名称変更してはどうか。

町長

観光協会については詰めた話し合いはしていないが地震の復興に向けての経緯の中で町民みんなが取り組む方向になるように、協議の場を設け検討していきたい。

能見

口コミを利用した観光客の誘客につなげることはできないか。口コミは体験したこと



能見貞明議員

を人に伝えるわけだから説得力がある。最近ではSNS等を利用した三朝町の宣伝の仕組みを考えては。

町長

非常に大切だと思う。

能見

熱気浴施設の譲渡について、隣の更地も買い取り三朝温泉の目玉施設となるようにしてはどうか。

町長

個人用地をお持ちの方とも意見をお伺いして、できればご協力いただければと話をしている。また、岡山のバス会社の役員の方とも民間参入、熱気浴施設と一緒に復興していくことに関わっていくような話もしている。大学の態度がはっきりしたらその方向で再建したい。



地震後使用中止となっている熱気浴施設

教育

問 三朝町の教育の基本姿勢は

答 町長) 教育はすべての根幹

答 教育長) 教育大綱に沿って執行していく

○新教育長に期待すること

池田

今年1月1日付で西田寛司氏が教育長に就任しましたが、町長は西田氏に何を期待し、三朝町教育の発展にどのような寄与ができると考えているか。

○教育はすべての根幹

町長

教育はすべての根幹であります。歴史教育を実践している西田氏の人柄は教育長にふさわしいと存じている。

○町長の期待

池田

町長は自分の何に期待し、白羽の矢を立てたと思うか。

○愚直さ、一生懸命さ

教育長

愚直に邁進する姿勢ではないかと考える。また、十分な見識と経験を備えているわけではないので、ひたむきに一生懸命、事に向かい合う事だと思う。

○三朝町教育の姿

池田

町長は三朝町の教育をどのようにしたい、あるいは、どうあるべきだと考えているか。

○はつらつさを高め

町長

教育はすべての根幹であるという思いは就任以来変わっていない。社会教育・社会体育・青年教育・青少年全般教育にわたって、現在のように細分化されていなかった時代、中学校に出かけて行って、次代を担う中学生が、はつらつと元気にスポーツに励み、教師と交わり、声高らかに笑い合っている姿を更に高めていきたいという思いは今も変わらない。

○教育長としての所信

池田

教育長就任以来未だその所信をお聞きしておりません。町民の方に対しても是非この場で。

○教育大綱に沿って

教育長

教育長の職は、教育委員会の構成員であり、その代表という立場である。また、教育総会議で協議され、町長が策定した教育大綱に沿って所管する事務を教育委員会の決定に則り教育長が事務執行するとされておりますので、この点を踏まえた上で、優しくたくましい三朝の子どもを育てていくため様々な教育事業を効果的に実施していきたい。

○スポーツ振興

池田

現在、町民のスポーツ活動は受益者負担という形で行われているが、更なる衰退につながっていくと懸念されるが。

○教委で協議

教育長

スポーツ振興のため受益者負担をなくし、もっともっとスポーツを振興すべしという意見について教育委員会の中で協議していきたい。

○生涯教育の柱

池田

高齢者を含めた一般社会人の知的探求心に応えていく上でも、生涯教育の柱となり得るものは、図書館の充実には他ならないと思うが。

○同感

教育長

三朝町において知的財産というべき場所が図書館だと認識している。これをより一層充実させる事が必要であると、同感の思いであ



池田雅俊議員

る。今後は、そのように努めたい。

○統合問題、フリー参加

池田

教育大綱から30年統合という文字が削除され、仕切り直しとなったが新たな準備委員会を町民フリー参加でスタートすべきと思うが。

○議論が未成熟

教育長

統合問題について、その議論が未成熟だったことから、今のままで議論を深めていく努力をしたい。

○粋な教育って？

池田

三朝町まち・ひと・しごと創生総合戦略27年10月版に、粋な教育で次代を担うみささっ子、とありますが、この粋な教育、どんなものかと考えるか。

○磨きをかける

教育長

今まで三朝町が進めてきた教育に更に磨きをかけ、輝きのあるものにすることに邁進する、というふうに理解している。

○ふさわしくない

池田

誰に聞かれても、さっと説明できる言葉でなく、教育という言葉形容・修飾するのに「ふさわしくない言葉である」と複数の国語教育者が述べている事実をお伝えしておく。

大雪対策

問 今回の雪害を踏まえ、対策を防災計画に盛り込む事が必要では

答 豪雪対策を含め、あらゆる災害に対応出来るように計画を見直していく

○雪害・除雪

石田

町内の被害状況は。

町長

住民生活では、県道の一時通行止め、路線バスの運休、観光面では宿泊客のキャンセルが相次いだ。農業分野では、ビニールハウスの倒壊など農業用施設8棟で被害が発生した。

石田

除雪対応の体制が悪かったのでは。

町長

除雪機械をフル稼働し作業を行ったが、断続的な降雪の影響で作業が間に合わず、積雪の多い地区等では、道幅の確保に時間を要し、すれ違いが出来ない路線も発生したが、町民皆様のご理解、ご協力により事故も無く作業を進める事が出来た。

○生活道路の確保

石田

生活に必要な道路及び歩道の除雪を考えるべきでは。

町長

生活を確保する、通学を確保するという観点で歩道の除雪をどうやっていくか、主要幹線を確保することによって通勤を確保するというのと、やはり全く感覚的には同じということではない角度の中で捉えて打開をしていく必要があると思う。

石田

危険箇所を無くす為にも、残雪処理を考えるべきでは。

町長

県と協議をしていく重要な点ではないかと思っている。危険箇所を無くす為にも、処理の場所の確保とかを、今回の豪雪を踏まえて計画の中に作り上げて



石田恭二議員

.....
いかなければと思っている。

○職員の人材確保

石田

危機管理を充実させるための行政職員の人材育成が必要では。

町長

5年ぶりの大雪であった。5年間のブランクというものがあるという反省を県並びに国とも話し合っている。今後しっかり計画を作り、訓練をし、住民の生活に資してまいりたいと思う。

無形民俗文化財の維持と継承

問 町民全体で守る体制が必要では

答 地域文化を大切にすることを育てる努力していきたい

○無形民俗文化財の休廃止

石田

都道府県指定した伝統行事が、継続的な実施が難しくなっているが。

教育長

社会構造の変化によって伝統行事が相当衰退してきている現実がある。

○担い手不足

石田

少子高齢化や過疎により、維持継承が厳しくなっているが。

教育長

無形民俗文化財の存続は、いかに後継者を育成していくかにかかっているものと考えている。

石田

地域住民だけでの維持が困難

になってきているが。

教育長

人材育成の場を作るなり、文化財の大切さを子どもたちに知らせて行くことも努めていきたいと思う。

○町全体で守る

石田

地域だけでは出来ない情報発信を町主体でしていただきたい。

教育長

三徳山・三朝温泉が日本遺産になったと、全国・世界にPR出来る武器がある。その中で宣伝をし、協力していただくことを募るという事に力を割きたいと思う。

学童保育

問 学童保育環境整備充実について

答 沢山の角度から検討を加えていく必要がある

○学童保育の見直しの具体内容

中信

学童保育は、近年における女性の就業割合の高まりや核家族への進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化を踏まえ、放課後や週末等に安心して生活出来る居場所を確保するとともに、次代を担う児童の健全育成を支援する目的である。学童保育が生活の場として成り立つ為には安心安全に過ごせる場が大前提、指導員との信頼関係も大事である。

平成26年6月定例会にて西小学学童保育環境整備充実について質問した時は抜本的見なしをすると回答された。見直しの具体内容は。



町長

平成28年4月から運営管理者1名を配置。学校の学童担当を決め連絡、協調が計れる体制とした。学童クラブ駐車場のアスファルト舗装が完了した。

○定員の増の理由は

中信

国でも支援単位は40人以下となっている。平成26年6月定例会で定員オーバーし、安心安全に過ごせる環境で無いと言ったが同じ場所で定員を40人から70人に増やされた根拠は。

町長

現在の利用人数は40人台から50

人ちょっとで、増やしたというものではないとご理解を。

○狭い場所で安心安全に過ごす為には注意事項が多くある

中信

いつも気にして行動をしなければならない状況をどう感じておられるか。

町長

年齢や発達の異なる子どもを同時に又継続的に育成支援していく中安全安心で伸び伸びとした環境が望ましいと感じている。

○放課後児童健全育成に関するアンケート調査を実施

町長

結果内容は安全で思い切り遊べる施設を希望。体育館のような広い設備又学校の敷地内に隣接。

様々の体験が出来るといいなと言うご意見。



○JAのAコープ跡地利用を

中信

JAのAコープが閉鎖状態である。広くて、目が行き届き安心安全に過ごせる場所としてその利用を提案する。又他の2学童保育は地域の交わりの中心点でされている。子どもと地域の交流の場となり活性化になっていくのではと思う。どう感じておられるか。

町長

施設面、環境面を含めて、これらの対応に万全を期する施設になるよう検討をさせていただく。

○放課後総合子どもプラン作成状況は

中信

放課後総合子どもプランが各自自治体も行動計画の策定が義務化されているが、他市町村は策定済み



中信貴美代議員

だが三朝町は未策定である。

町長

地震があり作成途中なので、早急に策定するよう努力する。

○指導員の不足の原因は

中信

指導員になられる方が少なくなっていると聞く。不足になる原因は何か。

町長

管理者に聞いて対処して行く。

○防災訓練を定期的にされているか

中信

安全対策、防災対策のマニュアル通りに定期的に訓練されているか。



町長

地震後に西小学学童保育では10月25日に1回開催。東小学学童保育では避難訓練を実施。

中信

日頃から定期的訓練を望む。又1日も早く良い環境になることを切に願う。

※ブロックの写真は学童児童の作品



高齢者支援

問 在宅一人暮らしの高齢者支援の新しいあり方がいるが

答 地域包括ケアシステムを進めて行かねば

○深刻な問題

山田

2025年問題がある。

医療・介護・社会保障費・認知症高齢者数の増加など、多様な問題が一気に深刻化する。今の精度のままではもたないだろう。

わが国では年間3万人以上の高齢者が誰にも看取られずに亡くなる。誰もが老いる。それに伴う大きな苦しみがある。

在宅での一人暮らしは「経済的な苦しみ」と「一人ぼっちの苦しみ」が最も大きい。

これを取り除くには、いわゆる施設でない「集団で生活できる場」が必要だと考えるが。

町長

民間事業者による各種サービスを揃えた高齢者向けの賃貸マンションの建設が増えているが、経済的な負担は大きい。

一人でも安心して生活するためには、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要。

また今後、地域の支えあいの体制づくりを強化したい。

○一人ぼっちの不安を取り除くには

山田

6次福祉計画には「できる

限り住み慣れた家庭や地域で」とあるが、在宅での重層的なサービスを受けなさいということに繋がる。配食サービスや安否確認のようなサービスがあっても、結局は一人ぼっちの不安は取り除けない。

町長

「在宅で」ということを離れて、語り合うことができる場は必要だろうと思う。地域でそういう場があるのかなのか、協議会の役割も大きなものがあるし、社協もこのままでいいのかということにもなる。

山田

小学校統合で廃校になる校舎もあるし、一人ずつ一軒に住んでおられるが、その中の一軒の家が拠点になってもいい。

2つの苦しみを取り除くにはこういう方法があってもいい。高齢者住まい法を見ても可能である。

町長

そういう少数単位での生活には賛同する。



高齢者福祉計画



山田道治議員

○ケアシステムだけでは不十分

山田

第7次福祉計画は30年に始まる。6～7年後には2025年問題がやって来る。だからそれを8期計画に乗せるには7次計画で触れないと間に合わない。

町長

当面地域包括ケアシステムを進めて行かねばと思っている。

山田

先ほどまでは町長と同じ方向を見てましたが、少し別の方向を向かれたかな。

2つの大きな苦しみを取り除くにはそのシステムでは不十分である。先ほど申し上げた「集団で生活する」ということが大事で、町には老人福祉の実施責務がある。

町長

居心地のいい三朝町なりのものを作っていく必要がある。

山田

早急に道筋を付けていただきたい。

復興

問 中部地震の復興に向けて

答 元気な町、三朝町をアピール

藤井

昨年10月21日に起きた中部地震では、町内において人的被害はなく、不幸中の幸いであったが、建物をはじめ、農地、道路等、多くの爪あとを残している。復旧、復興はいまだに進んでおらず、そして更なる追い打ちをかけるかのような大雪により、復旧、復興は足止めをくらっている。

本町の産業となっている観光に関しても、目に見えない風評被害により、少なからず悪い影響を受けている。

町民に対しこの復興の足音をどう理解せしめ、心に癒しを与えていくのか。そして、三朝温泉をはじめとする観光をどのようにアピールしていくのか。元気な三朝町を町外に発信されるのか。町長はいかがお考えか。

町長

三朝町民は突然の大きな地震に見舞われ、本町は広範囲にわたってご家庭や公共施設など多くの被害を受けた。住宅や集落公民館の修繕に向け、地震発生以降、専決を含む4度の補正による予算確保を行った。今後も引き続き、関係機関等と連携を密にしながら早期の復興に向けて努力していきたい。

8月に第19回の日本災害看護学会が倉吉市と三朝町とを主会場に開かれることが決まって、現在、計画が進められている。10月には第6回の道の駅の全国大会が開催される。この看護学会と道の駅全国大会、両大会ともそれぞれ1,500人程度の参加者が見込まれ、全国各地から参加者がお越しになる。元気な町、三朝町をアピールできる絶好の機会であると捉えている。

藤井

一般会計予算の中で、中部震災被害の復旧・復興に当たって想定外の基金の取り崩しを予定し、歳出面において大型事業が相次ぎ、平成29年度からその元金償還が始まる。今後も厳しい状況が続くことが予想されるなか、財政の方は大丈夫なのか。

町長

今度追加で提案を予定している3月の補正予算を合わせて、今回の鳥取県中部地震関連での予算の総額が事業費ベースで5億2,000万円程度になる。そのうちの基金の取り崩し等一般財源部分が2億円程度になる見込みである。このような災害等の事態、緊急的な財源が必要と想定いたし、財政調整基金等の積立を行っている。

藤井

日本遺産に認定された唯一の温泉である三朝温泉のブランド化を図り、風評被害を克服し、町の活性化を図り、元気な三朝温泉を取り戻していきたいと言われた。どのような克服を目指しておられるのか。

町長

旅館協同組合の皆さんと協議し、観光協会の皆さんとも相談させていただきながら、万一の場合に備えて積立を行っていた予算の中から3,000万円出して大阪からのバスを1,000円で往復させた。あわせて2万円以上の宿泊料金の場合に、1万円のクーポン券を発行するというようなこと。そして熊本方式というクーポン券があり、内閣総理大臣に熊本方式をぜひこの鳥取県の地震のところにも適用させてほしいと要望した。熊本方式が



藤井克孝議員

鳥取県にも適用される形となって、国が1億円、ですから、県も考えられ、当然当初を含めて1億円県も出して2億円という財源でクーポン券の事業が現在INGで進行中である。

藤井

提案説明の予算の中で言われた、地域協議会の地域自主活動支援交付金の額を増額するとあった。その50万円の上積みというのは復興に使ってもよいのか。

町長

地域協議会の補助金については最初からずっと一貫して地域協議会ごとに計画を立てられてお使いいただいている。今回は独りおりのお年寄りのところに声をかけたり、お元気ですか、大丈夫ですか、そういうことを気持ちとして持っていただければ非常にありがたい。そういう面で連絡体制、そういったことができていく町でありたいと思う。

藤井

50万円を各地域協議会に上乘せということで、復興に向けて各地域協議会での取り組み、集落の活性化に向けて利用するというので、町民の皆さんが一日も早く復興に向けて頑張ってください、また元気な三朝町を取り戻すことを願う。



2月12日開催

第15回



子ども



西小6年 小椋 日万莉 議員

移動販売車の 運行について

（質問）買い物が出来なくて困っている高齢者が沢山おられます。三朝町と町内の店と協力して「買い物バス」を運行すれば大変便利になるだけでなく、地元の野菜を販売すれば地産地消になるのではないのでしょうか。

（答弁）現在、町内に2つの業者の移動販売がありますが、商品の品揃えが難しく、さらに利用者が少ないので経営が難しい状況にあります。三朝町の地形的にも難しいです。高齢者への買い物支援としてバス利用では定期券購入やタクシー利用の助成を一部しています。

西小6年 佐崎 双葉 議員

3小学校統合について

（質問）三朝町の小学校では児童数が減っています。統合することによって、多くの友だちと学ぶことや触れ合うことによって考え方や見方、豊かな人間性を養う事にもつながります。統合に併せてスクールバスの運行も提案します。早期の統合についてお伺いいたします。

（答弁）三朝町の子どもたちの将来について、子どもの事を第一に考え、どのような教育を行い、教育環境をどう整備すれば良いのかを話し合っていることが沢山あり時間がかかりますが、出来るだけ早く統合するよう努力して行きたいと思っています。

東小6年 吉田 元気 議員

里山を生かした 町づくりについて

（質問）近年野生動物による被害が起きているのは里山が荒れていると考えます。里山整備に県内外から若い人を募集し、技術の習得をしていただき移住定住をしていただくと空き家対策や人口増加につながると思います。整備した里山を町民や観光客の憩いの場として提供してはどうでしょうか。

（答弁）野生動物と人間との区域が荒れているので分からなくなって来ている事は事実です。議員が言われたように里山整備をしていかなければならないと思います。町では里山整備の事業「とっとり共生の森」に取り組んでいます。企業、県、町の三者で里山整備をしていく事業です。整備した里山を地域の憩いの場所にする為に若い人たちと一緒に取組んで行きたいと思っています。

西小6年 松原 こすも 議員

タバコのポイ捨て 防止の取り組みについて

（質問）三朝町は全国有数の温泉地です。温泉街や河川敷、住宅地にタバコの吸い殻が落ちていて、景観を台無しにしています。町民に呼びかけて数か月に1回の「クリーン活動」や小学生も防止ポスターを作成してみんなで啓発をすれば美しい三朝町になると思いますがどうでしょうか。

（答弁）自然景観に恵まれている三朝温泉でのポイ捨てには残念に思います。提案のタバコのポイ捨て防止ポスターを是非作って下さい。教育委員会と相談し、3校の校長先生にご協力をいただき、予算を付けて実現させる方向で検討をしていきます。

西小6年 竹内 沙也香 議員

三朝町の特産物の PRについて

（質問）三朝町には特産物がありますが、その中でも「とちもち」「三朝米」は全国的に誇れる物と知りました。

町としてどのような所でPRされているのか、又ふるさと納税をした方々にプレゼントをしたらどうでしょうか。

（答弁）三朝町の特産物の中で三朝米が最高評価「特A」を受けました。「特選三朝米」や「とちもち」を宿泊の観光客の食材に使用したり、イベント等でPRに努めています。ふるさと納税のお礼として特産物の交換ができる利用券を進呈しています。今後も特産物を増やす事や販売努力をして行きたいと思っています。

南小6年 川北 真凜 議員

児童センターについて

（質問）児童センターは地域における児童健全育成のための活動拠点、又地域の子育て支援や家庭相互の交流が図られる場所です。竹田公民館を地域の方が自由に触れあえる場所、又行事を行うと「竹田地区で子育てをしよう」と若い人たちが集まってくるのではないのでしょうか。

（答弁）本町では子育てを町全体で応援出来る取り組みを始めた所です。竹田地区の集落の高齢者と町内の赤ちゃんとの楽しい交流がされました。地域の住民がいろいろな話合いが出来る児童センターが出来て多くの皆様が活発に活動される姿を想像するだけで嬉しくなるような提案だと思っています。今後地域協議会や教育委員会と協議して期待に添えるよう頑張りたいと思っています。

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）		石田 恭二	吉田 道明	池田 雅俊	能見 貞明	中信貴美代	山口 博	清水 成眞	藤井 克孝	平井 満博	山田 道治	牧田 武文	福田 茂樹	結 果
		議案名													
	町長提出議案名														
	（1月臨時会）														
1	平成28年度三朝町一般会計補正予算（第7号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
2	平成28年度三朝町財産区特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	（3月定例会）														
3	平成29年度三朝町一般会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○		可決
4 ） 13	平成29年度特別会計予算（10件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
14	三朝町特別会計設置条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
15	三朝町税条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
16	三朝町特別医療費助成条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
17	三朝町介護保険条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
18	三朝温泉多目的駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
19	三朝町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
20	三朝町と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約を制定する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
21	公の施設の区域外設置に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
22	三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
23	財産の取得について（土地等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
24	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（三朝町総合文化ホール設備改修工事（機械設備））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
25	町道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
26 ） 35	平成28年度三朝町一般会計補正予算（第8号） 平成28年度特別会計補正予算（9件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
36	副町長の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議員提出議案名														
	（3月定例会）														
議1	三朝町議会委員会条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。

件 名	提 出 者	審査結果	審 査 意 見
「沖縄の声に共鳴して地方自治の堅持を日本政府に求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	不採択	沖縄の現状を考えると、「米軍基地絶対反対」という意見が全てではない。安全保障は国政の場で論じられることで地方議会には馴染まない。
テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）の創設に反対する陳情	憲法改悪反対鳥取共同センター	不採択	テロ対策は国家単位で語るべき問題であり、また、国連で90%以上が批准している対テロ条約に加わっていない。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	趣旨採択	陳情の趣旨はよくわかるが、鳥取県内の景気動向や企業の実情を勘案すると地方では困難な状況にある。

誇りの持てる 三朝町のために

NPO里山地域研究会

理事長 田 栗 泰 典



平成22年度に法人化しましたが、それ以前から「緑の体感塾」といって、町内3小学校の児童と一緒に「森のお話を聞いたり、植樹や草刈り体験をしたり」しています。また高勢地域協議会の人たちと一緒に同様のことをしています。

さらに平成24年から町の委託を受け、「みささ青空体験塾」と称して、子どもたちの居場所作りと自然に親しむことを主目的にして毎月いろいろな取り組みをしています。

いくつか紹介しますと、サビキ釣り・遠足・収穫祭・魚つかみ・雪遊び・外国料理教室などがあります。時には倉吉農高の生徒さんや、倉吉ガールスカウトさんが参加することもあります。

これらの活動は、おじさんたちの引きこもり対策としても役立っているかもしれません。

議会傍聴にはなかなか行けませんが、録画を見て、すべての議員さんは町民の負託に応えておられると感じます。目先の課題に対応することは大事なことです。少子高齢社会を迎えて三朝町をどうするかということを真剣に考えていただきたいと思っています。

直面している小学校統合は暗礁に乗り上げていると聞いていますが、子どもたちのためにも早急に統合を進めるべきだと思います。

我がNPOとしても、誇りの持てる三朝町のために引き続き頑張っていきます。



みささ青空体験塾の様子



おわりに

ちよつとひとこと

梅の花、咲きはこり、何事もなかったようにつくしが頭を上げ春の訪れを告げ、元氣よく伸びつつあり心を癒してくれるとともに、忙しさが心にしみわたり、何からしたらよいのか迷う次第なのでは。自分だけではなく、皆さんもそう思っているのではないかと思います。

私の口癖でもある言葉は、言葉の使い方によれば、傷つく人もいるのでは。流す人もいれば受け止める人もいる。言葉の使い方によれば、言葉の暴力では。自分なりに思い、一人一人言葉の使い方を考え生きているか。自分なりに考えさせられる。

昨年の震災から一日も早い復旧・復興を目指し、被災された方々の穏やかな日常を取り戻して、温かい家庭、あたたかい町、笑顔で元氣な町にし、各地域協議会を通して元氣な町づくりを目指して行きたい。

(藤井克孝 記)

発行責任者 福田 茂樹
編集 長 藤井 克孝
議会広報常任委員会
委員長 藤井 克孝
副委員長 山田 道治
委員 池田 雅俊
委員 平井 満博